道東太平洋沖の流速場（2019年06月　海況速報No.188 付記）

2019/06/19
中央水産試験場　海洋環境G、釧路水産試験場、函館水産試験場

釧路水産試験場所属試験調査船「北辰丸」による、流れの調査結果をお知らせします。（水温観測結果は「北辰丸」および、函館水産試験場所属「金星丸」の結果を使用しています。）

親潮： 親潮の本流（O1：流速40～60cm/s程度（100m深））は根室のやや沖合を南西に流れており、襟裳岬の南側で向きを変え、南下する流路をとっています（図1）。親潮の本流周辺には親潮水（100m深 5 ℃以下）が広く分布しています（図2）。

暖水（えりも以東）：えりも以東の観測海域内には暖水は分布していません。

津軽暖流：海峡から流出した津軽暖流水（100m深8℃以上）は、青森沿岸に沿って南下しており、津軽暖流は沿岸モードです。

今後の見通し：現在えりも以東では親潮が順調に流れていますが、親潮面積は平年に比べて狭いことなどから（※）、今年は親潮の勢力自体が弱いと考えられます。今後もこの傾向が続けば、南からの暖水の影響により水温が急変する可能性も考えられます。今後の情報にもご注意下さい。

※参考気象庁HP：http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/oyashio/oyashio_area.html

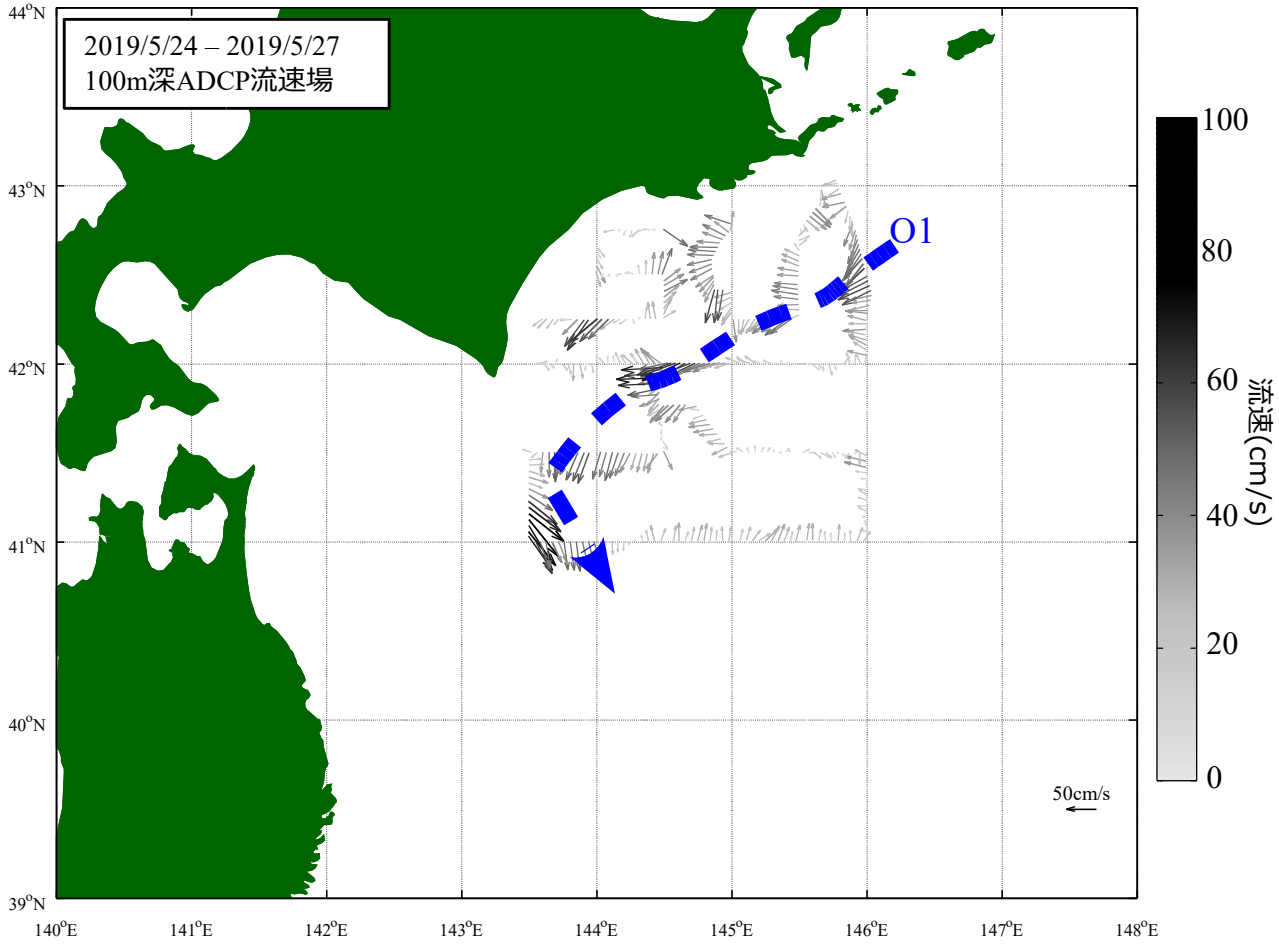
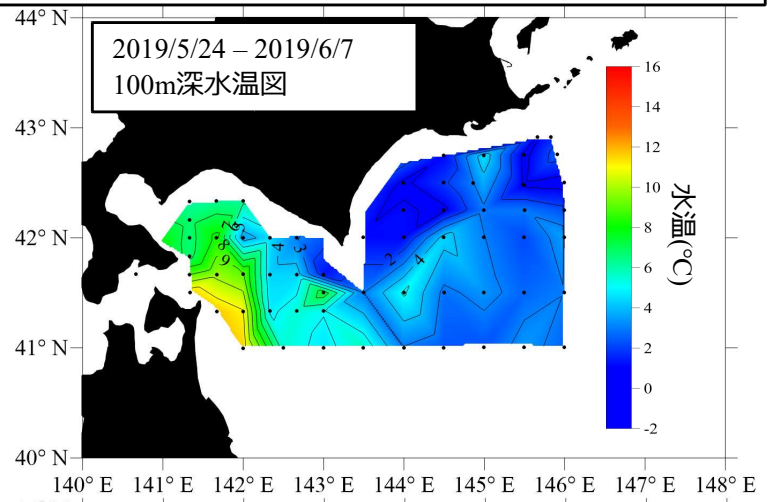


図1　ADCPによる100m深の流速場と模式図。実線矢印は向きでその場所の流向を、長さと色の濃淡が流速を表す。点線矢印は推定された親潮（青）の流れの模式図



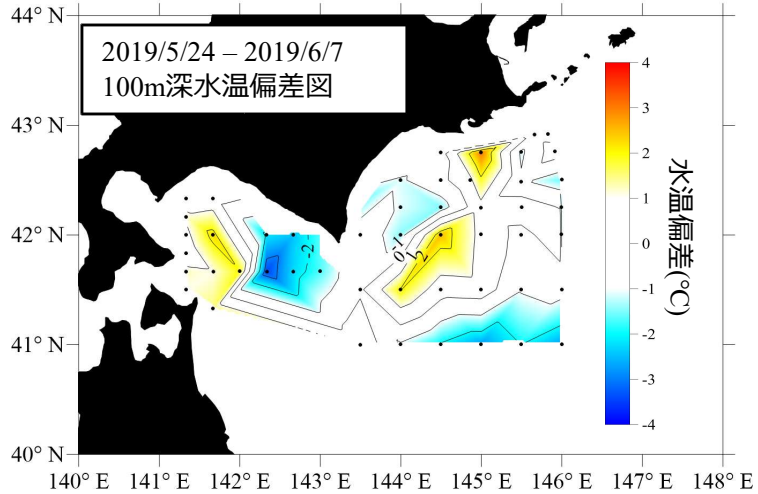


図2（上）100m深水温図
（下）100m深水温偏差図（1989～2018年平均からの差）